



平成30年12月12日

各 位

会 社 名 ロングライフホールディング株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 遠藤 正一  
 (JASDAQ・コード: 4355)  
 問合せ先 常務取締役経営本部長 瀧村 明泰  
 (TEL. 06-6373-9191)

### 平成30年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年12月12日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年12月8日に開示いたしました平成30年10月期（平成29年11月1日～平成30年10月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 当期（平成29年11月1日～平成30年10月31日）の業績予想数値の修正

連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,000	700	500	250	24円43銭
今回修正予想(B)	12,866	295	39	△115	△11円26銭
増減額(B-A)	△133	△404	△460	△365	
増減率(%)	△1.0	△57.8	△92.1	—	
(参考) 前期連結実績 (平成29年10月期)	12,320	523	464	233	22円83銭

個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,039	220	140	13円68銭
今回修正予想(B)	1,039	170	△36	△3円55銭
増減額(B-A)	0	△49	△176	
増減率(%)	0	△22.3	—	
(参考) 前期実績 (平成29年10月期)	931	325	182	17円81銭

## 2. 修正の理由

連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の修正につきましては、主として、ホーム介護事業において、人件費及び当期に新設をいたしました2ホームにかかる設備減価償却費等の経費が予定を上回ったことによる影響額が161百万円、また、リゾート事業において、当期に新設をいたしました石垣島及び箱根のリゾートホテルの設備投資が計画より増加したことを受け減価償却費等の経費が予定を上回ったこと等による影響額が56百万円、更に、グループ全体において、人材不足を背景とした人件費の高騰によりグループ全体の人件費が増加したことによる影響額が約160百万円あり、発表した業績予想を下回りました。

連結営業利益と連結経常利益の増減額の差額につきましては、主として当期に契約を締結いたしましたシンジケートローンの支払手数料等が予定より上回って発生したことによるものであります。

個別の当期純利益につきましては、連結子会社であるロングライフリゾート株式会社、ロングライフ国際事業投資株式会社及びロングライフメディカル株式会社の財政状態の悪化に伴い、当社が保有する同社株式の実質価額が著しく低下したため、関係会社株式評価損107百万円を特別損失に計上し、更に上記に伴い、各社に対する債権に対し、貸倒引当金繰入額33百万円を特別損失に計上したことにより、発表した業績予想を下回りました。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上